

農政の動き 2016年3月18日～3月31日

◇第3次食育推進基本計画決まる◇

政府は食育推進会議で、食育施策の指針となる第3次食育推進基本計画を決めた。期間は2016年からの5年間。重点課題には①若い世代を中心とした食育の推進②多様な暮らしへの対応③健康長寿の延伸④食の循環や環境への意識⑤食文化の継承——を掲げ、行政や教育関係者、農林漁業者などが連携して活動を進める方針を明記した。(2016年3月18日)

◇衆院がTPP特別委設置 今国会で成立目指す◇

衆院本会議は、環太平洋連携協定(TPP)承認案件と関連法案を審議する特別委員会の設置を議決した。審議は4月5日からで、政府・与党は今国会での承認・成立を目指す方針を示す。ただ、会期末は6月1日までと短く、生産現場では早期承認・成立ではなく、熟議を求める声も多い。(24日)

◇4～6月の平均気温北・東・西日本で高く◇

気象庁は、4～6月の3カ月予報を発表した。平均気温は北・東・西日本で高く、降水量は西日本日本海側で平年並みか多い。〈4月〉東日本太平洋側と西日本は、平年に比べ晴れの日が少ない。気温は全国で高く、降水量は東日本太平洋側と西日本で平年並みか多い〈5月〉西日本は、平年に比べ晴れの日が少ない。気温は西日本で高い〈6月〉気温は北・東・西日本で平年並みか高い。(25日)

◇16年度予算成立 農林水産は2兆3091億円◇

2016年度政府予算が参院本会議で可決、成立した。一般会計総額は過去最大の9兆6千721億8億円で、うち農林水産関係は15年度当初予算比1億円増の2兆3091億円。(29日)

◇民進党が結党大会 安倍政権との対決鮮明に◇

民主、維新両党の合流による「民進党」の結党大会が、東京都内のホテルで開かれ、衆参両院議員計156人が参加する新党が発足した。初代代表に就任した岡田克也氏は「政権交代が可能な政治を実現するためのラストチャンスだ」と政権奪取を訴え、参院選や衆参同日選を視野に安倍政権との対決姿勢を鮮明にした。(27日)

◇集落営農数に占める法人の割合 27.9%に拡大◇

農林水産省は、2016年2月1日現在の集落営農数は、前年同期比1.8%増の1万5134となったと公表した。このうち、法人は16.4%増の4217で、全体に占める割合は3.5ポイント増の27.9%に拡大した。(29日)

◇酪農教育ファームの認証牧場 5年ぶり前年増◇

中央酪農会議(中酪)は、酪農教育ファーム推進委員会を開き、2015年度末の認証牧場数(見込み)が前年度比2牧場増の295牧場となったと報告した。前年度を上回ったのは10年度以来5年ぶり。廃業などで12牧場が認証を失効したものの、新規・再指定が計14牧場あった。中酪では、より取り組みやすい環境整備に向け、認証申請の条件緩和などを進めるとした。(31日)

◇純農業地域の農地価格 21年連続で下落◇

全国農業会議所は、2016年の田畑売買価格調査結果を発表した。純農業地域の農地価格は21年連続で下落。全国平均価格は中田で前年比1.5%減の10畝当たり127万円、中畑は1.4%減の92万4千円となった。(31日)